

韓国の伝統文化を北海道と繋ぐ架け橋に



当別町社会福祉協議会職員

キム・ヒギョンさん

ここに書ききれないエピソードや写真は当別町ホームページ「現代を生きる^{プラス}」をご覧ください。



↑キム・ヒギョンさん（写真左）、韓国民画作家コ・ヒョネさん（写真右）



←「当別町エコアイデアレシピコンテスト（2025）グランプリ受賞作品「野菜たっぷりヘルシーチヂミ」

当別町社会福祉協議会での仕事をはじめ、韓国の伝統文化を伝える活動など、幅広く活躍するキム・ヒギョンさんにお話を伺いました。

北海道への憧れ

日本に来るきっかけは、韓国で公開された岩井俊二監督の映画「Love Letter」でした。映画に映し出された北海道の美しい雪景色に心を奪われ、「いつか北海道に住みたい」と思うようになりました。

その映画がきっかけで23年前に来日。東京の会社で7年間勤めたあと、結婚を機に念願の北海道へ移住しました。移住当初は札幌市に住み、市内の病院に勤めていましたが、ある日ドライブで当別町を通りがかった際に自然の豊かさにひかれ、知人から雪が多いと聞いたこともあり、雪が大好きな私にとって理想のまちだと思い引っ越しを決めました。

引っ越した後もしばらくは札幌市の病院へ通っていましたが、地元で働きたいと思うようになり、当別町社会福祉協議会に応募しました。

北海道と韓国を繋ぐ架け橋

友人からプレゼントでもらった韓国民画を見て素晴らしいと感じた事で、地域の皆さんにも韓国の伝統文化を身近に感じてもらいたい、韓国まで足を運ばなくても地元で触れてもらいたい、そして北海道と韓国の架け橋になれたらという思いで3年前から始めて今年で3回目を迎えました。

特に今回の展示会は、当別で活躍されているタイルクラフト作家さんとのコラボレーションが実現しました。シマエナガとポジャギ（風呂敷）を一緒に描いた作品や韓国料理の写真などを展示し、3日間で200人以上の方が来場されました。

「美しい作品を見て心が癒やされた」「この年でこんな素晴らしい作品を見られるとは」「これが韓国料理なの？食べてみたい！」など温かい感想をたくさんもらい、来場者の方々に喜んでもらって開催して良かったと心から思いました。

韓国民画だけでなく、さまざまな形で韓国文化を発信できとても良かったです。

感謝を届ける日々の喜び

当別町社会福祉協議会に入職して5年目になります。韓国人の私の可能性を信じて採用して下さったことに、今でも感謝の気持ちでいっぱいです。

現在は、ボランティアの皆さんの協力をいただきながら、安否確認を兼ねた配食サービスや買い物御用聞き、買い物送迎サービスなどを担当しています。

買い物送迎サービスを利用されている方から「月に一度キムさんに会えるのが楽しみなんだ。これでまた1か月元気に頑張れるよ」と言われたときは、思わず目頭が熱くなりました。地域の方々のために働けることに日々大きなやりがいを感じています。

好きを地域の力へ

当別町には、まちづくりのためにさまざまな活動をされている方々がたくさんおり、私もいつか地域をさらに活気づける活動の手伝いができたらと思っています。

韓国民画だけでなく、料理をはじめ韓国の魅力を発信しながら、地域に貢献していきたいです。